

文京区聴覚障害者協会と文京手話会 合同講演会

「東京2025デフリンピックの目指 したもの デファスリートの活躍」

講師 橋本一郎氏

橋本一郎(はしもと いちろう)さんは、手話通訳士であり、教育者・手話文化の普及者・手話アーティストとして幅広い活動をする人物です。単に言語を通訳するだけでなく、手話の社会的価値を高め、聞こえる人と聞こえない人の橋渡しをする存在として、手話界ではよく知られています。



○日時:2026年1月24日土曜、

午前10時から12時

○場所:文京区区民センター3A 3階

○費用:参加費無料

○情報保障:手話通訳、要約筆記



橋本一郎(はしもと いちろう)さんは、日本の著名な手話通訳士(プロの手話通訳者)で、手話界やろう者コミュニティ、障害理解の現場などで幅広く活躍している方です。

① 手話通訳士として第一線で活動

長年、ろう学校や特別支援学校で教員を務めた経験を持ち、現在は亞細亞大学の特任准教授として手話教育・支援の分野でも活躍しています。また、東京 2020 パラリンピックなど大きなスポーツ大会で手話通訳を担当するなど、幅広い現場で手話を届けています。

② 手話の価値を広める多彩な活動家

単なる通訳だけでなく、手話アーティストとしてパフォーマンスをしたり、手話イベントに出演したりするなど、「手話がかっこいい・魅力的な文化である」というイメージを社会に広める活動を行っています。通訳の仕事が「福祉的なもの」「黒いスーツの仕事」という固定観念に留まらないように、と語っています。

③ 手話界のイメージアップにも貢献

橋本さん自身、手話通訳を人気のある職業にしたいという思いを持ち、様々な場で手話の魅力や、聞こえる・聞こえないに関わらずコミュニケーションの可能性について伝えています。

④ 教育者としてのバックグラウンド

東京都や横浜市のろう学校・特別支援学校で 22 年以上教員生活を送った経験があり、その現場経験が通訳や手話教育での信頼につながっています。